

第3学年1組 算数科学習指導案

1 単元 小数 (本時 11/11)

2 本時の目標

容積の異なる2つのコップを使って、ねらった量の水の計り方を考えることができる。

(思考・判断・表現)

3 展開

段階	学習活動	教師の活動・支援
導入 (10)	<p>1 0.5Lと0.2Lのコップを使って、0.3Lの水の計量方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コップいっぱいに入れると、0.5Lや0.2Lの水がつくれるね。 ・0.5Lの水を0.2Lのコップに移したときは、引き算をして残りの量を求めることができるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計量方法を理解しやすいように、実演し説明する。 ・これからの活動に生かせるように、約束を整理して掲示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>a. コップいっぱいに入水を入れる。 b. 別のコップに移して、計算をする。 c. コップの水を捨ててもよい。</p> </div>
課題 (3)	<p>大ききのちがう2つのコップを工夫して使い、ねらった量の水をつくろう。</p>	
展開 (26)	<p>3 0.5Lと0.2Lのコップを使って、0.1Lと0.4Lの水の計量方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きいコップに入った0.5Lの水を、小さいコップに移すと、0.5L-0.2Lで0.3L残るね。 ・小さいコップを空にすると、残った0.3Lから、さらに0.2L減らせるね。 ・0.4Lの水は、小さいコップから大きいコップに2回移すとつくれるから、0.2L+0.2Lのたし算だね。 <p>4 0.7Lと0.5Lのコップを使って、計量方法を考える。(0.1L~0.4L, 0.6L)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>タブレット端末を使って試行錯誤しながら考えることができるようにする。</u> ・計量を再現できるように、手順を記録するワークシートを配付する。 ・変化したかさの算出方法が分かるように、式を書く欄を設けておく。 ・活動に困っている児童には、参考になる板書や掲示を示すなどの支援をする。 ・疑問を解決したり理解を深めたりするために、グループで話し合う時間をとる。 ・困っている児童は、スクールタクトで模型を動かして考えることを助言する。 ・感想や気付いたことを書くよう伝える。 ・小数の計算を生かすことや、友だちと交流することのよさに気付くことができた児童を指名する。
整理 (6)	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小数の計算を使って、ねらった量の水をつくることができました。 ・友達に聞いたら分かりました。 </div>	

4 評価

2つのコップの水の量を計算して、ねらった量の水の計り方を考えることができたか。
(活動3, 4の様子とワークシートの記述から)